

専攻	英語専攻	氏名	菅原 花
留学先	中央大学校（韓国）	留学時期	2023年度春学期（1年間）
<p>留学中はなるべく外にでかけ、たくさん話し、誘われたイベントには行ってみることを心掛けた。思いがけない交流もでき、友達づくりにもつながった。韓国語の力は、授業に加え現地の人との会話で大きく向上したと思う。自分から行動することが大切である。中央大学校には世界各国から留学生が来ており、様々な仲間に出会って生活する中で、他者を理解し、尊重する心が大きくなった。みんな優しく良い人ばかりで、日本が好きだと言ってくれる人もいて嬉しかった。1年間の留学生活を通し、自分に自信がいたことは大きな収穫である。</p>			

専攻	地域共創学群	氏名	増田珠里
留学先	中央大学校（韓国）	留学時期	2023年度春学期（1年間）
<p>留学中には体調管理には気を配り、自分に合った薬はぜひ持参してほしい。留学当初は、韓国語の授業を聞き取るのに難しさも感じたため、現地の録音アプリを復習に取り入れるなど工夫した。海外カードが使える現地通販サイトも生活に便利だった。大学には日本を好きな人が多かったのが嬉しかった。少しずつ韓国語が上達し、言葉が伝わる楽しさを知った。1年間の留学を終え、勉強に対する姿勢が変わり、積極的に取り組むようになった。留学中に様々な経験をする中で自分自身の視野が広がったと感じている。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	S.H.
留学先	韓瑞大学校（韓国）	留学時期	2023年度春学期（1年間）
<p>留学計画を振り返ると、語学堂と、大学の施設や制度を最大限に利用するという計画を達成することができた。そのためには先生や学生との関係構築が不可欠だったので人間関係も充実し、より濃く充実した大学生活を送ることができたと思う。韓国の学校で、韓国の方々と過ごすという日常は、旅行では味わうことのできない日々だった。私自身の変化としては、自己主張や意見の表明ができるようになった。朝鮮する心や行動力も強まったと感じている。よりポジティブになったとも思う。異文化を通して考え方の違いなども知ることができ、留学はとて学びが多かった。私にとって一生の思い出になった。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	藪田 彩加
留学先	ボールステート大学（アメリカ）	留学時期	2023年度秋学期（半年間）
<p>留学の目的は、語学力の向上とアメリカの多文化共生を学ぶことだった。多国籍で多様な文化を持つアメリカに身を置く中で、文化の違いを受け入れて多様な価値観を尊重する力が身についたと思う。留学は精神的にも金銭的にも容易ではないが、とても貴重な経験ができた。留学を経験して、私は自己主張ができるようになった。日常でも自分の意見や気持ちを率直に表現することが要求され、授業でも議論が積極的に行われた。授業内容を理解した上で自分の意見を発信する能力が身についたと思う。プレゼンテーションの機会も多く、人前で話すことへの抵抗がなくなったことも成長の一つだと感じた。私はアメリカ人が相手の良いところを見つけて素直に伝えることができるところに非常に魅力を感じた。留学を通してポジティブになり、個性を大切にしたいと思うようになった。異国に身を置く中で、アメリカの良さを知ると同時に、日本の良さを再確認することもできた。今後は札幌大学に来る留学生の留学生活がよりよいものになるようサポートしていきたいと考えている。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	野村 柊友
留学先	ボールステート大学（アメリカ）	留学時期	2023年度秋学期（半年間）
<p>半年間のプログラムであったが、非常に濃い日々となった。キャンパスの施設も素晴らしく学びの環境はとてもよかった。ルームメイトにも友人にも先生に恵まれた。人をほめる文化があることが心地よく、また周りの人に気を遣わずにいることは自分にとってとても過ごしやすかった。様々な国の人と関わる中で、世界の情報についても生の声をきくことができた。自分から心を開いて、声をかけ、交流することが大切だと思う。留学期間中は一人で何でもやらなければならないため、精神面でも鍛えられた。留学に行って本当に良かったと思っている。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	橋場 優志
留学先	ボールステート大学（アメリカ）	留学時期	2023年度秋学期（1年間）
<p>留学計画での目標はまず英語力の向上であった。渡米直後は全く理解することができなかったが、毎日新しい多くの表現に触れ、わからないことは素直に相手に伝えることで理解できるようになっていった。もう一つの目標は日本文化である書道を伝えることだった。想像していたより多く書道を指導する機会に恵まれた。多くの外国人は日本文化に関心があることがわかり、その中で少しでも貢献できたことは嬉しい。留学生活では、初めてのことに挑戦する機会を多く得たことで、新しいことへの抵抗感が薄れ自分への自信がついた。今後も何事にもまずは挑戦していきたいと思っている。留学により心が震えるような経験ができた。今は外国語を通じて人々に夢を与える仕事に強い関心を抱いている。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	宮田 結晶
留学先	ボールステート大学（アメリカ）	留学時期	2023年度秋学期（1年間）
<p>実際に留学してみて、『できない自分もできる自分と同じくらい愛してあげる』ことが大切だと思った。たくさんの「できない」の経験が「できる」には必要だと思う。アメリカに行って何百回も失敗して毎日落ち込んだが、少しずつ進歩していった。挑戦し続けた自分をほめてあげるといいと思う。自分の意見をしっかり主張する文化の中で生活し、人と違う意見を持つてもいいということを学んだ。それを皆で尊重し合える文化はとても心地よかった。今後も様々な国に行ってその国の文化や歴史を学んでみたい。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	蘆田 芽依
留学先	ボールステート大学（アメリカ）	留学時期	2023年度秋学期（1年間）
<p>留学を通じて勉強の習慣とライティング能力が大きく向上したことは大きな収穫である。勉強を習慣化させることで少しずつ成長していったことが自分の自信となり、友達を作る積極性にもつながった。語学学校の先生にライティングのコツを習い、小説作成の課題に取り組んだことで、先生に「人に教えられるレベルまで伸びた」と褒めてもらい、うれしかった。留学中はたくさんの苦難もあった。「人に頼る」ことは苦手だったが、勇気を出して話してみると大きな助けをもらった。この経験から、辛いときは人に頼り、反対に誰かが大変だと感じたときには自分から手を差し伸べようと思うようになった。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	岡本 綾乃
留学先	ネブラスカ州立大学カーニー校（アメリカ）	留学時期	2023年度秋学期(1年間)
<p>充実したかけがえのない経験だった。多くの友人ができ、毎日があつという間だった。彼らとは留学後も交流を持ち続けている。世界中に友人ができるのはとても素敵なことだと思う。日本語の美しさや、文化・宗教について考えるきっかけともなった。留学は一つの夢だったので達成できて嬉しい。両親や友人に支えられてこそできた経験だと改めて思う。海外での生活や勉強は簡単なことではないが、きっと自分だけの素敵な経験ができると思うので、ぜひ挑戦ほしい。</p>			

専攻	リベラルアーツ専攻	氏名	ウイン イ ブー
留学先	ラップランド大学（フィンランド）	留学時期	2023年度秋学期（1年間）
<p>ミャンマーとも日本とも、自然環境も文化も全く違う国に行った。実際に現地で暮らしてみて、どこでも自立して生きていける自信がついた。これまで知らなかった新しい世界に身を置くことで新たな視点とアイデアを得た。今後の人生で選べる道が広がったと思う。留学の目的に、英語を書く力の向上があったが、達成できたと思う。フィンランドでは日常的に英語を用いているため「フィンランドへ留学に行っても英語力は上がらない」という心配はない。留学生と日本人が良いコミュニケーションができるイベントや機会を作るアイデアを探すことも目的の一つであったが、たくさんの行事・イベントに出席し、興味深い事例に出会った。これから札幌大学のゼミでもっと気楽に楽しく交流できる環境づくりに生かしたい。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	佐藤 虹哉
留学先	セントメアリーズ大学（カナダ）	留学時期	2023年度秋学期（1年間）
<p>自分から行動しないと何も始まらないので、積極的に声をかけ様々な国籍の人と仲良くなることができました。ルームメイトを通じて、またイベントでもたくさんの人々と交流する機会があり、日常会話から多くのことを学んだ。授業中も自分がわからないことは、わかるまで質問していた。海外で約一年間を一人で過ごし、自分に自信がついた。想像していたより厳しいことも多くあったが、この経験のおかげで今の自分があると思う。</p>			

専攻	リベラルアーツ専攻	氏名	渡邊 周
留学先	台中科技大学（台湾）	留学時期	2023年度秋学期（1年間）
<p>周りの人に恵まれ、良い友達もたくさんでき、とても充実した留學生活を送れた。実践的に語学を使う力の向上を目的に留学したが、語彙や言い回し、細かいニュアンスの違いもつかめた実感があり大きな収穫があった。また、言語を習得する際にはつい後回しになっていた文化や歴史、政治への興味関心が現地では自然と生まれた。こうしたことについて自ら勉強を始め、台湾という国への意識が大きく変わった。自身の経験から、こうした語学以外の面でも現地で学ぶ価値は大いにあると思う。</p>			